

市長発言要旨

【発表事項】

1 米沢市水道事業及び下水道事業運営審議会への諮問について

本日、適正な下水道使用料のあり方について審議会へ諮問を行いました。

下水道事業が令和元年に企業会計に移行し5年が経過しましたが、赤字が続いており経営状況は大変厳しいものとなっており、昨今の物価高騰や収支状況等を踏まえ適正な下水道使用料のあり方を御審議いただくことになります。

持続可能な下水道事業を行っていくためには、動力費や委託費、減価償却費や支払利息等多額の費用が必要でありますので、使用料の改定も視野に入れて経営を行っていかねばならないと考えております。

市民の皆様が安心して生活できるようインフラの整備・維持管理に努めながら、下水道事業を行ってまいります。

【発表事項】

2 熱中症リスク判定 AI カメラの試験導入について

「熱中症リスク判定 AI カメラ」の試験導入についてですが、この「熱中症リスク判定 AI カメラ」(製品名「カオカラ」)は、ポーラ化成工業株式会社が、顔解析技術を活用し熱中症予防のために開発されたもので、熱中症のリスク判定を4段階で行います。

使用方法は、カオカラ(タブレット端末)のカメラに顔をかざし、専用に学習したAIにより顔画像から体調不良状態を解析し、暑さ指数などの外的リスク情報と統合してリスクを推定します。

導入の目的についてですが、熱中症は、本人も周囲も気づかないうちに進行してしまうことが多く、人の目や主観だけでは気付きにくいことが問題であります。カオカラを導入することにより、生徒自身が熱中症リスクを認識し、水分を補給する、休憩をとる、先生へ報告する等、対策を取りやすくすることを目的とし、熱中症の予防や早期発見を期待しています。

導入のスケジュールについてですが、設置校は市内中学校7校で、1校には2台設置し、計14台を設置します。設置作業は6月27日と28日の二日間で行い、機器設置後から使用が可能となります。なお、本格的な運用は7月から実施します。

カオカラの使用場面ですが、登下校時や体育及び部活動の後など、暑い中で運動等を行った際に、熱中症のリスクを判定し、測定した結果に応じた対応を行います。

使用方法は、生徒自身が専用のタブレット画面の撮影ボタンを押し、3秒間顔をかざして判定を行います。

【回答事項】

1 J R東日本が示した米坂線復旧案への所感について

5月29日(水)に開催された第3回JR米坂線復旧検討会議では、令和4年8月の豪雨災害で被災した米坂線について、既往の事例から災害復旧後の4つの運営パターンが初めて示されました。運営パターンについては、①「被災前同様JRによる運営」、②「上下分離方式」、③「地域が運営する鉄道(第3セ

クター等)」、④「バス転換」の4つが提示されたところです。

④の「バス転換」については、この度、復旧後の4つの運営パターンのうちの1つの方法ではありますが、本市としては、これまでと同様に①の「被災前同様 JR による運営」を望むことに変わりはなく、鉄道としての災害復旧を基本に考えております。

引き続き、米坂線整備促進期成同盟会での取組に加え、本市としても重要事業要望書を通じた要望活動等も継続してまいります。並行して復旧に向けて利用促進の取組などを、県や同盟会と連携して進め、需要を大きくする方策を進め、鉄道を活かしたまちづくりを目指していきたいと思っております。

【回答事項】

2 熱中症対策関連取組について

今年の夏も、全国的に気温が高いと予想されており、熱中症が危惧されることから、市民の皆様にも本格的な夏が来る前から予防策をとっていただくよう情報発信に努めており、6月1日号市広報誌での特集記事掲載やチラシ等の配布、そして公式LINEなどにより熱中症対策の周知を図ってきたところです。

また、クーリングシェルターにつきましては、コミュニティセンターをはじめ28の公共施設に加え、ヨークベニマル様4店舗とNPO法人結いのき様の協同センターの併せて5民間施設の御協力により既に開放いただいているところですが、7月からは、新たにウエルシア薬局様の御協力により3店舗が加わる予定です。引き続き、民間企業等にクーリングシェルターの設置・協力を呼び掛けていきます。

次に、市立小中学校や公共施設の冷房設置状況についてですが、小中学校では、全ての普通教室に冷房装置が設置されており、全ての屋内運動場（体育館）にはスポットクーラーを設置・完了し、運用を開始しております。暑さ指数計（WBGT 計）については、令和5年度に全学校に配置しました。

給食室におきましては、未設置となっている愛宕、万世、南原小学校の3校の給食室への設置工事につきましても、夏休みを活用し、9月下旬までに設置を完了する予定としております。

その他公共施設につきましては、改修を含め冷房設備の設置は、完了しており、未設置の施設はございません。

先の記者会見等でお知らせしている気象 IoT センサー「ソラテナ Pro」を第一中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校に設置し、近隣の小学校4校と中学校3校、また教育委員会でも測定値が共有できるようにし、様々な気象情報や暑さ指数をリアルタイムに確認できる仕組みを導入いたしますが、今月の27日までに機器を設置し、運用は7月1日から開始する予定です。

なお、学校活動における熱中症対策においては、児童生徒の安全を第一に考え、先ほど説明いたしました「熱中症リスク判定 AI カメラ」も活用し、様々な対応を講じて対応してまいります。

今夏も相当な暑さが想定されますので、本市としましては関係機関と連携し、一丸となって熱中症対策をしっかりと対応していきたいと考えております。

（参考）スポットクーラーの設置状況

- ・中学校→令和5年度（R6.3）に設置完了。R6年度より運用開始
- ・小学校→令和6年度（R6.6.20）に設置完了。設置後から運用開始

WBGT計について

- ・全小中学校に、約290個を配置

ソラテナ Pro について

- ・設置→6/25：第三中・第四中、6/27：第一中・第五中
 - ・設置校（4校）では、測定値は熱中症対策を判断する値として活用する。
 - ・次の近隣等校では、ソラテナ Pro で測定した値は参考値とし、自校で測定する暑さ指数と合わせて熱中症対策を行う。（今年度は実証事業として行うため、今年度はデータの収集と比較分析を行う。）
- 小学校：東部小、西部小、北部小、松川小
中学校：第二中、第六中、第七中

3 市長就任からこれまでの新たな気付きについて

あっという間の6か月であったと思います。私が掲げている「好循環の米沢」の実現に向け、職員と共に取り組んでいるところであります。毎日が気付きの連続であり、以前から現場主義というものを大事にしていますので、できる限り役所を出て、様々な企業や事業所の現場のお声をお聞きするようにしております。そうした中での気付きも多くありますし、職員と話す中での気付きというものもあります。今年度も、各地区における市長を囲む座談会を開催することにしておりますので、市民の皆様からの多くのお声をお聞きできるように進めてまいりたいと思います。また、総合計画策定に係る審議会も始まりましたので、中・長期的な視点を大切にしながら取り組む必要があると認識したところであります。